



水産教室「ロープワーク」の授業

- 1 日時 令和3年5月24日(月) 5・6校時
- 2 対象 3年選択「海洋生物(水産教室)」受講者8名
- 3 事業名 ロープワーク①②
- 4 場所 本校生物・化学実験室
- 5 講師等 羅臼町漁業協同組合 中野さん、神山さん、中谷さん、中陣さん、鹿又さん
羅臼町教育委員会 佐藤大誠さん
- 6 内容等 羅臼町漁業協同組合青年部の方々から、実際に漁業で使われているロープの結び方やロープが使われる状況についてレクチャーを受ける。
加えて、漁業に携わる若い年代の方々から、仕事の良さや羅臼の漁業の展望や将来に向けた視点について直接話を聞き、知識や理解を深める。



《習得した結び方》

- 本結び
- たて結び
- もやい結び
- 巻き結び
- たわら結び

羅臼漁業協同組合青年部の方々、ありがとうございました。

「知床学」番外編



↑ 6月8日(火)の位置

↑ 6月9日(水)の位置

↑ 6月10日(木)の位置



○6月8日(火)放課後

野球部生徒が「うずくまって動かないシカが野球場の坂にいます。どうしたらいいですか。」と事務室に走ってきた。駆けつけた人間に囲まれても、じっとして動きませんが、呼吸をしており目も開いています。

★知床財団に問い合わせたら、「生まれたばかりの子供をつれたエゾシカは、草の中に子シカを隠して離れたところで草を食べる習性がある」とのことでしたので、そのまま放置した。

○6月9日(水)放課後

野球部顧問から、野球場のセンター後方の柵の外側に隠れているとの報告があった。この日も見守りそっとしておいた。

○6月10日(木)放課後

校内巡回をしていた職員から、グラウンドのサッカーゴールの中に隠れているとの報告があった。隠すの下手だと思いつつ見守り。この日以降は校地内に姿なし(母シカも)

○6月14日(月)朝、「ヒグマ対応出動及び被害状況記録(6/13)」と共に注意喚起の連絡が、町役場から学校にありました。

目撃された地点と学校の位置関係から、関連性があるのかと思えますが、わかりません。

★このようなことは「知床では普通におこっていること」と受け止めなければならないと考えている。

